

# 伊東市次世代 育成支援行動計画

平成 17 年 3 月

伊 東 市

## 元気な子どもの声がするまち「伊東」のために

市民の皆様には、児童福祉や児童の健全育成に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市における出生数は、昭和 50 年には 1,048 人でしたが、平成 15 年には、561 人と半減しています。それと同じくして、14 歳以下の年少人口比率は、24.6% から 12.4% へとなっています。また、65 歳以上の高齢者人口比率は、8.4% から 25.3% へと増加し、本市の人口構成が、確実に少子高齢化の道を歩んでいることが御理解いただけるのではないのでしょうか。

さらに、国の「少子化に関する意識調査研究」でも指摘している少子化の要因として、結婚することや子どもを持つことに対する消極的な国民の意識が増えつつあることを踏まえ、子どもを生み・育て易い社会の醸成が求められています。

そのような中で、出産し子育てをしている家庭への支援、働きながら子どもを育てている方への支援、次世代を育む親となる方への支援等の環境整備を図っていくことが、本市に課された責務となっています。

本市におきましては、平成 11 年度に作成された伊東市児童育成計画の理念を引き継ぎつつ、第三次伊東市総合計画を基本として、今回「伊東市次世代育成支援行動計画」を策定しました。

策定に当たり、貴重な御意見をいただきました伊東市次世代育成支援対策地域協議会の委員の皆様をはじめ関係者の皆様、次世代育成支援に関するニーズ調査に御協力をいただきました市民の皆様に、心からお礼申し上げます。

今後は、本行動計画を基本的な指針として、家庭・地域（事業所）・行政が一体となり、施策の推進を図りたいと考えておりますので、より一層の御協力をお願い申し上げます。

平成 17 年 3 月

伊東市長 鈴木 藤一郎